

## 岩手県の母子保健の取り組みを学びに途上国から訪問

国際協力機構(JICA)が途上国を対象に実施する研修「母子継続ケアとUHC」の一環として、2月4日～7日に本年も岩手県を訪問し、母子保健の取り組みを学びます。

※「継続ケア」とは、妊娠・出産・子育てという各時期を一続きと捉え、家庭・コミュニティ・保健施設が連携しながら母子保健サービスを提供するという考え方を表し、UHC(Universal Health Coverage)とは、「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを意味しています。

妊産婦の健康改善と乳児死亡率の削減は現在世界各国が目指しているSDGs(Sustainable Development Goals)において、重要なターゲットの1つとなっています。しかしながら、保健人材の不足、保健施設へのアクセス難、保健施設間の搬送システム(リフェラルシステム)等様々な課題があり、都市部と農村部、富裕層と貧困層の格差があるのが現実です。

日本は戦前戦後を通じ、妊産婦死亡率や乳児死亡率を改善してきた歴史があります。改善要因には国民皆保険制度の確立、母子手帳を活用した母子継続ケアの実施、地域の保健師や住民活動の活用等が挙げられます。

本研修で訪問予定の「まんまるママいわて」は、東日本大震災の被災地を中心に、2011年から母親たちが子育てを助け合う取り組みを実施されています。また、岩手県旧沢内村(現西和賀町)は、昭和30年代に深澤晟雄村長の「いのちに格差があってはならない」という理念のもと、保健師や住民が一体となって「いのちの行政」が行われたことは有名です。

以下の日程で講義・視察を実施予定ですので、ぜひ取材・報道をご検討ください。

### <取材可能な日程>

日時	内容	場所
2月5日(水) 14:00-16:30	【講義・見学】まんまるママいわての取組	まんまるママいわて
2月6日(木) 10:30-12:30	【見学】沢内中学校 学校保健の取り組み見学	見学: 沢内中学校
14:00-16:00	【講義】西和賀町の母子保健行政について	講義: 西和賀町沢内庁舎
2月7日(金) 10:00-12:00	【講義】旧沢内村の保健師としての経験	西和賀さわうち病院

### <研修概要>

全体研修期間 : 2020年1月23日(木)～2月14日(金)

参加国 : アフガニスタン・ガーナ・ケニア・ミャンマーから(4か国、8名)

研修受託機関 : 公益財団法人ジョイセフ(JOICFP)

※予定変更となる場合がございます。取材をご検討の際は下記までご一報いただけますと幸いです。

### 【本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 人間開発・計画調整課 (担当:橋本)

TEL 03-3485-7469 e-mail: [ticthdop@jica.go.jp](mailto:ticthdop@jica.go.jp) / [Hashimoto.Yuho@jica.go.jp](mailto:Hashimoto.Yuho@jica.go.jp)